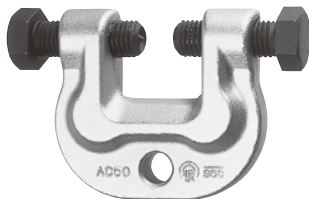




# アイアンマン

## 〈挟締金具〉

# AC・ACL



## 取扱説明書

- この取扱説明書は、クランプの基本的なご使用方法および扱い方について説明しております。ご使用前によくお読み頂き、安全作業のため使用上の注意を守って正しくお使い下さい。

本品は、部材の結合に便利な金具ですが、取り扱い方法等を誤ると重大な事故となる恐れがありますので、必ずご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解された上で、正しく安全に作業を行ってください。

## ■用 途

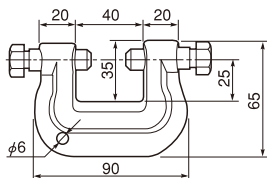
- 1.主として作業構台、乗入れ構台等の重仮設構造物の部材の結合に使用する便利な金具です。
- 2.その他、種類によりH形鋼等の仮置き材の転倒防止やすべり止め等にも使用出来ます。

## ■仕様・寸法

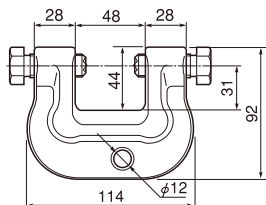
種 類	品 番	クランプ範囲 (mm)	保証荷重 (kN)	ボルト対辺 (mm)	ボルトの規定 締付トルク (N・m)	質 量 (kg)
Ⅰ 型	AC36	9～36	10	17	49	0.55
	AC45	9～45	30	24	147	1.1
	AC50	9～50	50	36	294	2.6
	AC50H			41		
	AC60	21～60		36		3.5
Ⅱ 型	ACL	H型鋼側 9～22	70	36	294	4.5
		アングル側 5～19				

## Ⅰ型> AC36・AC45・AC50・AC50H・AC60

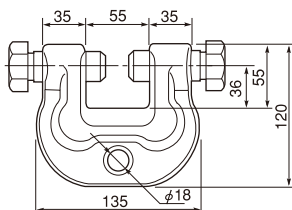
Ⅰ型は、1つの挟締部を有する構造で、2つの統部件材のフランジを重ね合わせて挟締し、部材を結合する金具です。



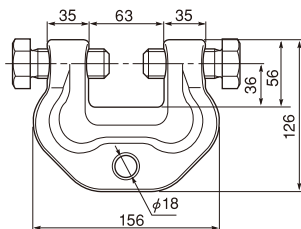
▲AC36



▲AC45



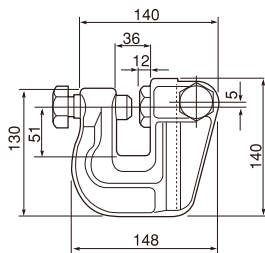
▲AC50・50H



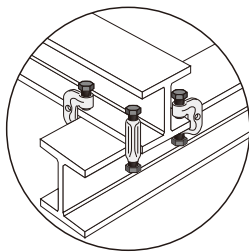
▲AC60

## Ⅱ型> ACL

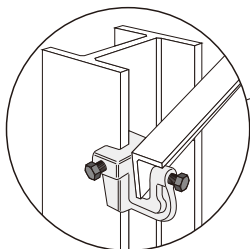
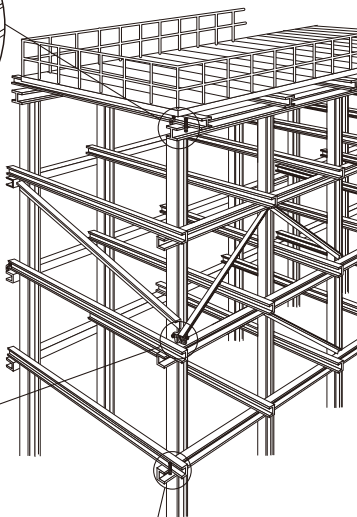
Ⅱ型は、2つの挟持部を有する構造で、2つの統部件材のフランジをそれぞれ挟締し、部材を結合する金具です。



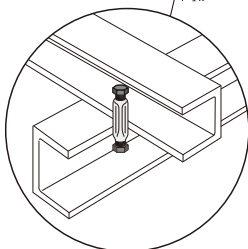
# ■使用例



▲ I 型



▲ II 型



▲ I 型

## ■特 長

従来工法(溶接、ボルト結合)と異なり合理的な結合方法です。

部材の結合部に直接溶接を行ったり、ボルト穴をあけたりする必要がないため、多くの場合いつでもどこでも作業ができ、作業時間の大幅な短縮や部材の再利用等に於いて非常に経済的です。また、安全面でも管理が容易で安心です。

- 締め付けは、トルクレンチで確認できるため一定したクランプ力が得られて安全です。
- 熟練や資格を必要としないため、素人でも簡単に短時間で作業ができます。
- 従来工法に比べて作業時間が大きく短縮されます。
- 火を使えない場所や水に濡れる場所でも作業ができます。
- 比較的狭い場所や電気などの動力源のない所でも作業ができます。
- 仮設用鋼材は、溶接やボルト穴加工をしないので、そのまま再使用ができます。
- 工期の時間短縮により、費用損失が少なくなります。
- 本体は、精密型鍛造品で強靱かつ耐久性は抜群です。

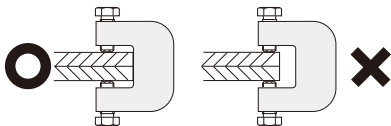
## ■作業方法

- 1.両側のボルトを結合部材が入るように緩めて下さい。
- 2.結合部材を開口部の最奥部に当たる様にセットして下さい。
- 3.結合部材が開口部の中央に来る様にボルトを調整して下さい。
- 4.トルクレンチを用いて片側のボルトをP1の規定締付トルクで締め付けて下さい。
- 5.締め付け力の確認が出来た物は、スプレー等でマーキングをして下さい。
- 6.取り外す時は、ボルトが部材に引っ掛からない様に十分に緩めてから取り外して下さい。(叩いたりして取り外さないで下さい)

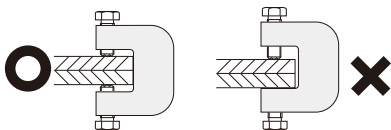
## ⚠ 注意

### ◎作業上の注意

- ボルトはP1の規定締付トルクで締め付けて下さい。
- ボルトを規定締付トルクで締め付ける際は、必ずトルクレンチを使用して下さい。仮締め等でインパクトレンチを使用する場合、必ずP1の規定締付トルク以下で締め付け、最後にトルクレンチで規定締付トルクで締め付ける様にして下さい。
- 規定締付トルクを上回るインパクトレンチは絶対に使用しないで下さい。過大なトルクで締め付けを行うと破損の原因となります。
- 部材の重ね面に油、泥、コンクリート等が付着した状態で使用しないで下さい。
- H形鋼のフランジの先端を開口部の最奥部まで入れて下さい。



- H形鋼のフランジは、必ず両側のボルトを喰い込ませて下さい。片側だけですと、外れる恐れがあります。



### ◎安全上の注意

- 鋼材等の吊り上げには、使用できません。
- 部材は3枚以上重ねての使用はできません。
- ハンマー等による衝撃を与えないで下さい。
- 火気のある所では、使用しないで下さい。
- 本品の運搬時は落としたり、放り投げたりしないで下さい。
- 長期間使用する時は、定期的に緩み等の異常がないかを点検して下さい。
- 木材やコンクリートなど、鉄鋼材料以外の物には使用できません。
- 本品は狭締金具本来の目的以外には使用できません。
- 本品を改造しないで下さい。

## ◎管理上の注意

- 本体、ボルト、パッドの割れや、変形、傷等の欠陥がある物は使用しないで下さい。  
特にボルト、パッドの先端に注意して下さい。
- ボルト、パッドは、アイアンマン専用部品以外の物は使用しないで下さい。
- ボルト、パッドに付着した泥、その他の異物は必ず取り除いてからご使用下さい。
- ボルトの回転がスムーズでない物は、注油して下さい。
- 改造しないで下さい。  
加熱、加工等をした場合は、著しく品質(強度)の低下を招きます。
- 工事終了後は、屋内で傷等が付かぬ様保管して下さい。
- 再使用の場合は、割れ、変形、傷等のないことを確認し、付着物の除去及び注油を行って下さい。
- 取り付け後において、著しい変形又は破損があった時は、直ちに異常のない物と取り替えて下さい。

■ 保守点検を行って下さい。点検基準書がご入用の場合は、裏表紙の(株)スーパーツールの各支店・営業所迄ご連絡下さい。

株式会社 **スーパーツール**  
<https://www.supertool.co.jp/>



- |  |                                 |                     |                  |
|--|---------------------------------|---------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> 本社・工場 〒599-8243 | 大阪府堺市中区見野山158番地                 | TEL.072-236-5521(代) | FAX.072-236-5785 |
| <input type="checkbox"/> 大阪支店 〒599-8243  | 大阪府堺市中区見野山158番地                 | TEL.072-236-5526(代) | FAX.072-236-3817 |
| <input type="checkbox"/> 東京支店 〒142-0041  | 東京都品川区戸越3丁目4-18<br>ゴールドステージビル4F | TEL.03-5750-2341(代) | FAX.03-5750-2347 |
| <input type="checkbox"/> 名古屋支店 〒460-0026 | 名古屋市中区伊勢山1丁目2-4                 | TEL.052-323-0701(代) | FAX.052-323-0720 |
| <input type="checkbox"/> 札幌 〒003-0029    | 札幌市白石区平和通3丁目北4-20               | TEL.011-864-3581    | FAX.011-864-3590 |
| <input type="checkbox"/> 仙台 〒984-0831    | 仙台市若林区沖野2丁目8-5                  | TEL.022-294-1922    | FAX.022-285-1513 |
| <input type="checkbox"/> 北関東 〒337-0004   | さいたま市見沼区卸町2丁目6-9                | TEL.048-682-5000    | FAX.048-682-5059 |
| <input type="checkbox"/> 広島 〒733-0012    | 広島市西区中広町2-14-27                 | TEL.082-293-5570    | FAX.082-293-5531 |
| <input type="checkbox"/> 福岡 〒812-0016    | 福岡市博多区博多駅南3-10-23               | TEL.092-431-1897    | FAX.092-431-1909 |